

ハマベゴミムシ *Pogonus japonicus* Putzeys

【選定理由】

潮間帯に生息する珍しいゴミムシ。県内で生息が確認されたのはごく最近であり、減少傾向などは不明であるが、自然海岸の減少と海水の汚れから生息基盤が脅かされており、絶滅の危険が増大していると考えられる。

【形態】

体長 6.5mm 内外。艶のある黒色で、上翅は赤褐色を帯びる。脚は褐色。頭部、胸部は大きく、複眼の内側には明らかな縦隆があり、前頭溝は平行する。前胸の基縁は前縁より幅広。上翅は両側がほぼ平行で、基縁は縁どられ、条線は明らか。

【分布の概要】

【県内の分布】

弥富市鍋田干拓地、西尾市（戸田,2019）、豊橋市の河口や海岸で確認されている。

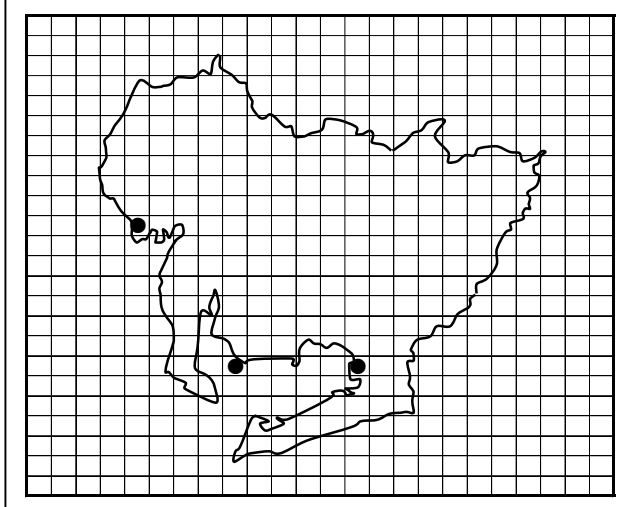
【国内の分布】

本州、四国。

【世界の分布】

日本の特産種。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

県内での生息地は、いずれも砂浜を伴う潮間帯。初夏に潮間帯に打ち上げられた藻類の下などで発見される他、灯火に飛来する。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内での生息が確認されて以降記録はないが、当時から生息環境に大きな変化はない。潮間帯の芦原に生息する種なので、自然海岸の減少ならびに潮間帯の汚染によって簡単に生息環境が損なわれる危険性が高い。

【保全上の留意点】

現在残る自然海岸、ないしは自然環境が良好な海岸、潮間帯の保全が最低限必要であるが、本種の生息地となる河口部の環境維持には、上流部も含めた河川の浄化が必要であり、保全には困難を伴う。

【関連文献】

- 穂積俊文, 1997. 愛知県未記録甲虫数種. 佳香蝶, 49 (192): 71.  
岩崎 博・蟹江 昇, 1990. 愛知県のオサムシ類. 愛知県の昆虫, (上): 309-338. 愛知県.  
戸田尚希, 2019. 愛知県のハマベゴミムシ. 佳香蝶, 71 (277): 23.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)